平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月8日

上場会社名　中央紙器工業株式会社　　上場取引所　名
コード番号　3952　URL　http://www.mcpack.co.jp/
代表者　(役職名) 取締役社長　(氏名) 山下　雅司
問合せ先責任者　(役職名) 取締役総務企画部長　(氏名) 前　賢太　TEL 052-400-2800
四半期報告書提出予定日　平成30年2月13日
配当支払開始予定日　—
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	9,114	6.5	683	△9.8	646	△20.1	372	△29.3
29年3月期第3四半期	8,556	△2.5	757	7.9	808	7.4	526	8.5

(注) 包括利益　30年3月期第3四半期　463百万円　(△3.7%)　29年3月期第3四半期　480百万円　(10.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	74.99	—
29年3月期第3四半期	106.06	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	13,170	11,214	85.1
29年3月期	13,163	10,969	83.3

(参考) 自己資本　30年3月期第3四半期　11,214百万円　29年3月期　10,969百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	20.00	—	24.00	44.00
30年3月期	—	20.00	—		
30年3月期(予想)				20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成30年 3月期の連結業績予想（平成29年 4月 1日～平成30年 3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,250	4.8	950	1.5	1,000	8.0	620	10.6	124.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） ： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	5,225,008 株	29年3月期	5,225,008 株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	258,022 株	29年3月期	258,022 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	4,966,986 株	29年3月期3Q	4,966,986 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。
なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料の2ページをご参照ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 2
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 3
（１）四半期連結貸借対照表 …… 3
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 4
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 6
（４）セグメント情報等 …… 6
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 6
（６）重要な後発事象 …… 6

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善効果もあり、全体的には緩やかな回復基調で推移しましたが、米国の政治動向や地政学リスクの影響等により、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような経済環境の中で、国内の段ボール需要については、夏場以降の長雨や台風等の天候不順に伴う伸び悩みがあったものの、通販・宅配関連を中心に前年を上回り、全体的には堅調に推移いたしました。

また、当社進出先である中国においては、個人消費と輸出は堅調に拡大している一方、政府による金融引き締めや製造業に対する環境規制強化を背景に景気は減速傾向にあります。

このような状況下において、当社グループは、３ヵ年の経営方針・重点実施事項の達成に向け、営業活動としては、既存のお客様への深耕化、ならびに総合的な包装提案力による拡販に継続的に努めました。また原価低減としては、視える化・ムダ削減の改善活動による生産効率の向上を図ってまいりました。

以上により、当第３四半期連結累計期間における当社グループの業績は、国内では主要取引先である自動車・電気機械関連を中心として売上を伸ばしました。しかし、中国においては環境規制に起因した原材料価格上昇分の対策の効果が顕れ売上増となるものの、更なる原材料の高騰の影響により利益については減益となり、全体としては増収減益となりました。

この結果、売上高は91億14百万円（前年同四半期比6.5％増）、営業利益６億83百万円（前年同四半期比9.8％減）、経常利益６億46百万円（前年同四半期比20.1％減）、親会社株主に帰属する四半期純利益３億72百万円（前年同四半期比29.3％減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

日本は、売上高は76億44百万円（前年同四半期比2.7％増）、セグメント利益７億43百万円（前年同四半期比4.5％減）となりました。

中国においては、売上高は14億70百万円（前年同四半期比32.2％増）、セグメント損失１億30百万円（前年同四半期はセグメント損失69百万円）となりました。

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

（２）財政状態に関する説明

（資産）

当第３四半期連結会計期間末における流動資産は99億88百万円となり、前連結会計年度末に比べ１百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が１億43百万円減少し受取手形及び売掛金が１億29百万円増加し電子記録債権が14百万円増加したことによるものであります。固定資産は31億82百万円となり、前連結会計年度末に比べ５百万円増加いたしました。

この結果、総資産は、131億70百万円となり、前連結会計年度末に比べ７百万円増加いたしました。

（負債）

当第３四半期連結会計期間末における流動負債は13億17百万円となり、前連結会計年度末に比べ１億97百万円減少いたしました。これは主に未払法人税等が１億57百万円減少したことによるものであります。固定負債は６億38百万円となり、前連結会計年度末に比べ39百万円減少いたしました。

この結果、負債合計は、19億56百万円となり、前連結会計年度末に比べ２億36百万円減少いたしました。

（純資産）

当第３四半期連結会計期間末における純資産合計は112億14百万円となり、前連結会計年度末に比べ２億44万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益３億72百万円及び剰余金の配当２億18百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率85.1％（前連結会計年度末は83.3％）となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成29年５月11日に公表いたしました決算発表時の通期業績予想は見直しを行っておりません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成29年３月31日)	当第３四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,238,521	7,095,361
受取手形及び売掛金	2,045,432	2,174,552
電子記録債権	450,380	465,329
商品及び製品	103,288	114,040
仕掛品	13,832	22,536
原材料及び貯蔵品	55,682	52,612
その他	79,155	64,247
貸倒引当金	－	△494
流動資産合計	9,986,292	9,988,187
固定資産		
有形固定資産	1,954,692	1,929,769
無形固定資産	31,052	44,955
投資その他の資産	1,191,143	1,207,961
固定資産合計	3,176,888	3,182,685
資産合計	13,163,181	13,170,873
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	853,968	866,429
未払法人税等	205,255	47,585
賞与引当金	125,005	55,613
役員賞与引当金	29,781	26,900
その他	301,599	321,337
流動負債合計	1,515,609	1,317,865
固定負債		
役員退職慰労引当金	96,300	51,250
退職給付に係る負債	528,115	528,849
その他	53,249	58,371
固定負債合計	677,664	638,471
負債合計	2,193,274	1,956,336
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,077,895	1,077,895
資本剰余金	980,562	980,562
利益剰余金	8,570,890	8,724,820
自己株式	△72,138	△72,138
株主資本合計	10,557,209	10,711,139
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	374,554	481,372
為替換算調整勘定	38,142	22,024
その他の包括利益累計額合計	412,697	503,396
純資産合計	10,969,906	11,214,536
負債純資産合計	13,163,181	13,170,873

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成28年４月１日 至　平成28年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成29年４月１日 至　平成29年12月31日）
売上高	8,556,918	9,114,968
売上原価	6,276,476	6,853,991
売上総利益	2,280,442	2,260,976
販売費及び一般管理費	1,522,531	1,577,159
営業利益	757,910	683,817
営業外収益		
受取利息	1,461	1,665
受取配当金	24,753	26,825
仕入割引	5,925	6,038
その他	22,701	15,698
営業外収益合計	54,842	50,228
営業外費用		
持分法による投資損失	3,334	84,382
売上割引	305	256
その他	199	2,974
営業外費用合計	3,839	87,613
経常利益	808,912	646,431
特別利益		
固定資産売却益	－	1,875
特別利益合計	－	1,875
税金等調整前四半期純利益	808,912	648,307
法人税、住民税及び事業税	250,664	232,796
法人税等調整額	31,470	43,033
法人税等合計	282,135	275,830
四半期純利益	526,777	372,477
親会社株主に帰属する四半期純利益	526,777	372,477

（四半期連結包括利益計算書）

（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成28年４月１日 至　平成28年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成29年４月１日 至　平成29年12月31日）
四半期純利益	526,777	372,477
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	93,655	106,817
為替換算調整勘定	△89,516	△12,740
持分法適用会社に対する持分相当額	△50,181	△3,378
その他の包括利益合計	△46,042	90,699
四半期包括利益	480,735	463,176
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	480,735	463,176

（３）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（４）セグメント情報等
Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自　平成28年４月１日　至　平成28年12月31日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	日本	中国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,444,670	1,112,248	8,556,918	－	8,556,918
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	7,444,670	1,112,248	8,556,918	－	8,556,918
セグメント利益又は損失(△)	779,002	△69,381	709,620	48,289	757,910

（注）１．セグメント利益又は損失(△)の調整額48,289千円には、セグメント間取引消去55,368千円が含まれております。
２．セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自　平成29年４月１日　至　平成29年12月31日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	日本	中国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,644,780	1,470,187	9,114,968	－	9,114,968
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	7,644,780	1,470,187	9,114,968	－	9,114,968
セグメント利益又は損失(△)	743,883	△130,648	613,235	70,581	683,817

（注）１．セグメント利益又は損失(△)の調整額70,581千円には、セグメント間取引消去77,241千円が含まれております。
２．セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（６）重要な後発事象
該当事項はありません。